

一般社団法人全国農業会議所

新規採用ガイド

団体の概要

設 立	1954年11月
資 本 金	なし（非営利型一般社団法人）
従業員数	85名（うち常勤は73名、正職員の平均年齢は39歳）
代 表 者	会長 國井 正幸
本 社	東京都千代田区二番町 9 - 8
拠 点	本所のみ（転勤なし）
業務内容	農地の利用集積と有効活用、遊休農地の発生防止・解消、農業経営者の育成・支援、新規就農の促進などに向け、農業委員会はじめ行政機関・団体とともに取り組んでいます。

組織の概要

行政委員会

農業委員会

主な業務

- ① 農地法等の法令業務
- ② 農地利用の最適化業務
(農地の利用集積、遊休農地対策、新規就農の促進)
- ③ 市町村等への意見の提出
- ④ 情報提供活動 など

市町村

県域の農業団体

(J A 県中央会、J A 全農県本部、
県農地中間管理機構、農業共済組合、
県土連 など)

一般社団法人

都道府県農業会議

(都道府県農業委員会ネットワーク機構)

主な業務

- ① 農業委員会業務の支援
- ② 農業委員・農地利用最適化推進委員、職員への研修の実施
- ③ 農地法等の法令業務
- ④ 農地情報の収集と提供
- ⑤ 法人化等の経営支援
- ⑥ 就農希望者への支援
- ⑦ 県などへの意見の提出
- ⑧ 情報提供活動 など

一般社団法人

全国農業会議所

(全国農業委員会ネットワーク機構)

主な業務

- ① 農業会議業務への支援
- ② 農業委員・農地利用最適化推進委員、職員への研修に対する協力
- ③ 農地情報の収集と提供
- ④ 法人化等の経営支援
- ⑤ 就農希望者への支援
- ⑥ 国などへの意見の提出
- ⑦ 情報提供活動 など

全国域の農業団体

(J A 全中、J A 全農、J A 全共連、
農林中金、全国農業共済協会、
全土連、J R A など)

会員

会員

(47都道府県)

会員

具体的な業務の紹介

【農業会議(農業委員会)業務への支援】

- ① 農地利用の最適化（農地の利用集積、遊休農地対策、新規就農の促進）の取り組み支援
- ② 「農業委員会サポートシステム」（農地台帳の電子化・地図情報化）の活用促進に向けた支援
- ③ 農業委員会の体制整備に向けた支援
- ④ 農業委員会の活動事例等の情報発信
- ⑤ 優良農地の確保に向けた農地相談の実施
- ⑥ 農地価格・農業労賃調査の実施

【農業経営の法人化や経営改善の支援】

- ① 法人化、複式簿記、青色申告の推進
- ② 稲作、養鶏、肉用牛、観光農業、法人など経営者組織の運営支援
- ③ 認定農業者等担い手の組織化支援
- ④ 全国農業担い手サミットの開催
- ⑤ 農業者年金、家族経営協定の推進
- ⑥ 農の雇用事業・雇用就農資金の交付（最大2年間で240万円）（最大4年間で240万円）
- ⑦ 農業次世代人材投資資金の交付（最大5年間で750万円）
- ⑧ 日本農業技術検定の実施
- ⑨ 外国人技能実習評価試験の実施



働く職員
インタビュー

海藤洋平（左）

2008年入会。現在、農地・組織対策部農地情報公開システムセクション所属

青木昂平（中）

2014年入会。現在、経営・人材対策部経営セクション所属

渡邊美奈都（右）

2021年入会。現在、出版部所属

①入会の動機は？

食料生産の根幹である国内農業の発展に貢献ができる仕事がしたかったからです。農業者への直接的な支援ができると感じています。

②仕事のやりがいとは？

農業者の経営改善支援をはじめ、国への政策提言、新聞記事の取材や広告営業など、仕事は多岐に渡っています。現場対して具体的にどのような支援ができるか、考えながら仕事をすることにやりがいを感じます。

③仕事で苦労することは？

農地法など専門的な知識が必要とされる場面があるため、その習得には苦労しています。また、法律の改正や国からの新たな指針が示された場合、その対応に時間や労力が必要になることです。

④夢・目標は？

自分たちの次の世代にも安心して食料が行き渡るような社会であって欲しいと思います。そのためにも農業・農村等の発展に携わっていただければと考えています。



【就農希望者への支援】

- ① 日常的な新規就農相談の実施（全国新規就農相談センター）
- ② 就農・求人情報の収集と提供
- ③ 新規就農情報ポータルサイト「農業をはじめる.JP」などを通じた就農希望者と地域のマッチング

【国などへの意見の提出】

農業委員会、農業団体、農業経営者組織からの意見を集約して、

- ① 「人・農地」などの政策提案
- ② 税制改正要望
を毎年、国などに対して実施

【情報提供活動】

- ① 全国農業新聞の発行と普及
（毎週金曜日発行、8ページ建て）
- ② 全国農業図書の発行と普及
（年間50～60点発行）
- ③ 農林漁業新規就業情報誌
「iju info」の発行（年2回）

①入会の動機は？

人生で「食」の楽しみを大切にしています。仕事として、食料を生産する農業者、農地、農政など、多方面から農業に関与してしていければ、有意義な人生を送れると感じたためです。

②仕事のやりがい？

部署ごとに仕事が全く異なることです。「農業委員会支援」「農業者支援」「農政活動」「新聞・図書の制作」「営業」。それぞれプロになるような気持ちで努力すれば、自身の成長にも繋がると思います。

③仕事で苦勞することは？

全国組織として農業現場の皆さんの活動を支えることが使命ですが、「人に動いてもらう」には相応の説得力が必要で、苦勞します。文書の書き方一つで受け止め方は変わるので、日々注意しないといけません。

④夢・目標は？

農業政策を大きく左右するような会議に出席することがあります。様々な経験を積んで、組織を代表してそうした場で発言できることを目指しています。



①入会の動機は？

日本の食文化は日本の農産物によってのみ成り立つと考えています。おいしい日本食を次の世代に繋いでいくため、「農地と人」という農業の根底を支える仕事をしたいと思ったからです。

②仕事のやりがい？

編集した書籍を手にとってくださった全国各地の方々から、「使ってるよ！」と言っていただけることが励みになります。

③仕事で苦勞することは？

編集作業は著者や印刷会社など様々な人と連絡を取りながら進めていく必要があります。1冊の書籍に複数の著者がいる場合も多く、スケジュール管理が大変です。

④夢・目標は？

「困っていたことの答えがあった」「新しい知識を得ることができた」「前を向く気力が湧いた」など、読者の未来が明るくなるような書籍をつくっていきたいです。



福利厚生

■ ノー残業DAY



毎週水曜日を
ノー残業DAY
に設定してい
ます。

■ 有給休暇取得推進



定期的に有給休暇
の取得状況をチ
ェックし、積極取
得を推進していま
す。

■ 住宅手当



社宅はありませ
んが、単身者や
若年者に配慮し
た住宅手当を設
けています。

■ サークル活動



野球
ゴルフ
フットサル
釣り
など

■ リフレッシュ休暇



勤続5年ごとに
勤続年数に応じ
連続休暇を取得
できるリフレッ
シュ休暇を設け
ています。

■ 財形貯蓄制度



給与からの天引き
で手間なく安定的
・計画的に貯蓄す
ることができます。

こんな人を求めています

コミュニケーション
能力がある人

「聞く」「伝える」
「意思疎通する」
「関係性を築く」

会議や研修会、新聞
や出版物の製作など
で日々、農業者、行
政関係者、農業団体
関係者と深く接する
機会が多くあります。

積極性がある人

「提案」
「行動」
「自分の意見を発信」

国に対する政策の提案
や新聞・出版物の企画
など、自ら情報を収
集・整理し、提案する
機会が多くあります。

柔軟性がある人

「新しい発想」
「変化への対応」
「臨機応変な思考」

変革期を迎えている
農業・農村の持続的
発展のためには、固
定観念にとらわれな
い柔軟な発想が重要
になります。

募集要項

初任給	大卒 205,500円
諸手当	時間外手当、住宅手当、家族手当、通勤交通費（実費）
昇給	年1回
賞与	年2回（6月、12月）
勤務時間	出勤は9：00～9：30までのフレックス、退勤は出勤時刻の 8時間10分後（17:10～17:40）（うち休憩60分）
休暇休日	完全週休2日制（土・日）、祝日、年末年始、年次有給休暇、 夏季特別休暇、慶弔事由による特別休暇【年間休日120日以上】
社会保険	健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険
各種制度	財形貯蓄他
勤務地	本所のみ（転勤なし。ただし出張の多い部署あり。）

選考スケジュール

短期インターンシップ（4～6月の随時、1～3日）

第1次：小論文（農業・農村、農業政策に関する内容）

第2次：適性検査

第3次：面接

合否判定

6月中を予定

提出書類

エントリー時	①エントリーシート（マイナビ経由） ②履歴書（マイナビ経由）
第3次選考時	指導教授等の推薦書
採用内定時	①卒業見込証明書 ②健康診断書